

炭素線 100ボルト16燭光	16.5	45.	1	31	是ハ新ラシキ電球ナリ
同上 100ボルト10燭光	9.46		2	1	此ノ電燈ハ本校寄宿舎自習室ニテ九月以來使用シ來リシモノナリ
同上 (High) 100ボルト 10燭光	9.85		2	6	
同上 (Low)	0.40				
同上 上-100燭光	71.37	45.	2	10	此ノ電燈ハ地理教室備附幻燈器械附屬品ニシテ110ボルト375ワツトノモノナリコノ實驗ニ供シタル電流ハ市内電燈用ノモノニシテ光力ハ稍弱キガ如シ
Tantalum 100ボルト16燭光	13.82	45	1	31	
Tungsten 100ボルト20燭光	17.66		2	6	
Ostrum 100ボルト17ワツト	16.93		2	10	
瓦斯燈(下向キヤソトル)	22.20	46	2	1	
小	13.01		2	2	

西洋蠟燭	1.15	45	1	26	
燈心一本(種油)	0.10	45	2	15	此ノ燈心ノ光力ハ一定ニ保タズ其ノ燃焼時ハ一定ノ時間ヲ得ルニ難シ且ツ其ノ燃焼時ハ一定ノ時間ヲ得ルニ難シ且ツ其ノ燃焼時ハ一定ノ時間ヲ得ルニ難シ且ツ其ノ燃焼時ハ一定ノ時間ヲ得ルニ難シ

植物雜錄

保井コノ

さくらゐさう 此植物ハ櫻井半三郎氏が美濃惠那山麓ニ於テ採集セラレタルモノニシテ牧野富太郎氏が明治三十六年九月植物學雜誌上ニ於テ一個ノ新屬トシテ發表セラレ理學博士三好學氏ニ獻セラレテ新タニ Miyoshia ナル屬ヲ建テラレ是レ採集者櫻井氏ヲ紀念スル爲ニ種名トシテ *Miyoshia taii* ヲ撰ズレさくらゐさうノ和名ヲ定メラレ尙みよしゐ科ヲ制定スベシトサヘ唱ヘラレタルモノナルガ越ヘテ三十二年十二月ノ同誌上ニ於テ是ヲ既設ノ屬 *Protolirion* 中ニ收メテ *Protolirion Miyoshi-Sakurai Makino* ト改メラレタルモノナリ、詳細ハ當時ノ誌上ニ悉シケレバ此植物ハ百合科ニ屬スルモノニシテ高サ漸ク數寸ニシテ体ハ黃白色、葉ハ小鱗片狀ヲナシ花ハ總狀花序ヲナシ花一莖上ニ二三乃至十二三花ヲ著ケ花蓋ハ六片アリテ外列ハ小形雄藥六ニシテ花蓋ノ基部ヨリ出デ雌



葉ハ半下位上半部ハ三分シ子房ハ三室ニ分レ多數ノ胚珠ヲ容レ果實ハ蒴ニシテ花蓋ハ宿存ス本屬ノ植物ハ熱帶地方ニ於テノミ發見セラレタルモノニシテ菌根ヲ有スルヲ以テ自体ニ於テ同化作用ヲ營マザルモノナルヲ以テ植物体内ニハ葉綠種ヲ有セズ以テ上ニ述ブルガ如キ色ヲナスナリ本校ニ藏スル植物ハ惠那郡中津町ノ人後藤氏ノ寄贈ニカ、ルモノニシテ同地附近ノ御領林中ノ腐葉土中ニ得タルモノナリト。

ほんがうさう 本植物モ又牧野氏ノ命名ニシテ其最初ノ發見地伊勢國三重郡本郷ニ因ミテ名附ケラレタルモノナリ、此植物ハ本郷草科ニ屬シ學名ヲ *Scaphila japonica Makino* トシ、此屬ノ植物モ又さくらゐさうト同ジク我國以外ニテ知ラレタルモノハ皆熱帶産ノモノニシテ腐生植物ナルヲ以テ植物体ハ葉綠粉ヲ含マス紫色ヲ呈ス、本校ニ存スル標本ハ最初ノ發アル地タル本郷産ノモノ及ビ熊本金峯山ニ於テ得タルモノナリ。

まんごすてん 近時熱帶地方産ノ果實ノ我國ニ輸入セラレテ食卓ヲ賑ハスモノ多クアリ、ばな、まんご、龍眼、荔枝、等皆然ラザルナシ、茲ニ掲グルモノモ又其一ニシテ實ニ熱帶地方産果實ノ「クイン」ト稱ヘラル、モノナリ、金絲桃科ノ植物ニシテ學名ヲ *Garcinia mangostana* ト云フ小形ノ石榴位ノ大サニシテ厚キ果皮ヲ有シ是ヲ去レバ内ニ種子アリテ白色ノ厚キ假種皮ヲ以テ被ハル、人ハ此假種皮ヲ食用ニ供スルナリ、此植物ト同屬ノモノニシテ *Garcinia morella* var.

*pedicellata* Haum. ト稱セラル、モノハ染料植物ニシテ其樹皮ヨリ黄色ノ染料ヲ製ス、「カンボージ」ト稱フルモノ是ナリ、小石川植物園ノ温室内ニハ此植物ノ大ナルモノ二株アリ四月初旬果實ヲ着クルヲ見タリ、*Garcinia Mangostana* モ亦極メテ小ナリト雖 植エラレタリ同室ヲ參觀セラル、方ハ見落サル、事ナク觀察セラル、トヲ望ム。

おほいしさう 此植物ハ淡水産紅藻類ノ一ニシテ日本ニ於ケル最初ノ發見者大石氏ニ因ミテ岡村博士ノ命名セラレタルモノナリ *Compsopogon* 屬ノモノナリ、大石氏ハ矢口ノ渡シ附近ニテ得ラレタルガ後矢部教授ハ大箕谷八幡下ノ流レニ於テ發見セラレタリ、前回ノ理科學術談話會ニ陳列セシモノハ昨年同地ニテ採集セシ際ニ得タルモノニシテ線狀ニシテみづにら等ノ葉上ニ附着シ居レリ、淡水産ノ紅藻ハ其數甚ダ少クシテ我國ニテ著シキモノハ此外ニ「かはもづく」アルノミ水邊ニ採集セラル、際ニ注意セラレテ新タニ其發生地ノ發見モアラバ面白カル可シ。

澱粉ニツキテ 植物性食物中ニ於テ主要ナル一部ヲ占ムルモノハ澱粉ナリ、澱粉ハ單ニ食品トシテ要アルノミナラズ糊料トシテ其他工業上ニ用途益々多カラントス、近來人造澱粉ノ研究等アリト雖實際ノ用ハ皆植物ノ貯藏セルモノヨリ得ルノ一方アルノミ、而シテ此貯藏澱粉ハ其植物ノ種類ニヨリテ其形、大サ其他ニ於テ各々異ナレリ、頃日教室ニテ是等ノ澱粉ノ標準トナル可キモノヲ得ン事ヲ企タテラレ若干種ヲ得テ其形態ニツキテ尠少ノ觀察ヲナセリ、此報告ハ後日完成



ヲ得テスベキモ此際ニ参考書中ニテ種々ノ澱粉ノ大サヲ記シタルモノアリタルヲ以テ次ニ報セン  
トス、單位ハ一ミユー即チ千分ノ一「ミリメーター」トス。

タウモロコシ 一五—三〇

コメ 二—一〇

コムギ 二八—四〇 稀ニ六又ハ五〇

ソバ 六—一二 稀ニ二又ハ一五

バナ、 二〇—四〇 稀ニ七〇

シヤガタライモ 七〇—一〇〇

サツマイモ 二五—三五 稀ニ五五又五—一五

豆類ノ澱粉 普通五〇 稀ニ一〇〇

此外「ヨーロッパアンチエスナット」又ハ「スバニツシユチエスナット」普通ニ稱セラル、歐州産  
ノ粟ノ澱粉ハ大形ノモノハ一五—三〇ミユーノ大サヲ有シ小形ナルモノハ一三ミユーアリ。

とちのきの類ニシテ *Aesculus hippocastanum* ノ種子ノ澱粉ハ二〇—三〇ミユーニシテ稀ニ四  
〇ミユーニ達スルモノアリ。

熱帯地方ニテハばんのき *Artocarpus insisa* ノ果實ヨリモ澱粉ヲ製ス此大サハ普通七ミユーニ

シテ稀ニ一三ミユーニ達スルモノアリ、

まらんだ屬ノ根莖特ニ *Naranta arundinacea* L. ヨリ得ル澱粉ハ熱帯地方ノ重要ナル澱粉ニシテ  
「アロールト」ト稱セラル、モノナリ、此澱粉ハ大形ニシテ三〇—五〇稀ニ七〇ミユーノ大サ  
ハ有スルモノアリ、但シ現今ハ「アロールト」ノ名ハ單ニまらんだ屬ニ限ラズ熱帯地方ニ産スル  
根莖、根、等ヨリ製セラル澱粉ノ總稱トナリまらんだノモノハ「ウエスト、インディア、アロール  
ト」ト呼バル。

「ウエスト、インディア、アロールト」ニ對シテ「イースト、インディア、アロールト」或ハ  
チカーフラワー」ト稱セラル、モノハ生薑、薑黃等ト等シク蕁荷科ニ屬シ薑莖ト同屬ナル

*Curcuma angustifolia* 等ノ根莖ヨリ製シタルモノニシテ此澱粉ノ大サハ普通六〇ミユーニシテ稀  
ニ七五ミユーヲ越スモノアリ。

「クインスランド、アロールト」ト稱スルハ觀賞用ノ「カンナ」タンダク」及ビ同屬ナル *Cann  
edulis* ト稱スル植物ノ根莖ヨリ重ニ製セラル、モノニシテ濠州及東印度等ノ重要ナル澱粉ナリ此  
モノハ大形ニシテ肉眼ニテ其粒ヲ認メ得ベク大ナルハ一三五ミユーニ達スルモノアリ、サレバ普  
通最大ノ澱粉トセラル、モノナリト雖我國ニ産スルかたくりノ澱粉ハ尙是ヨリ大ナルモノヲ  
交ユ。



やまのいも類モ又澱粉質ノ食物ナルガ東印度地方ニ於テハ是ヨリ澱粉ヲ製ス其大サ三五―五〇  
ミューニシテ稀ニ八〇ミューニ達スルモノアリ。

「タビオカ」ト稱スル食料品ハ澱粉ヨリナル此モノハ大戟科ノ植物 *Manihot utilissima* ノ根莖ヨ  
リ製スルモノニシテ又「カツサバ」「マニオカスターチ」ト稱セラレ「ブラジル」等ノ熱帶地方ニテ製  
セラレ重ナル販路ハ北米合衆國ナルモ近時我國ニモ輸セラレ洋風ノ料理ニ用キラレ臺灣ニテハ其  
栽培ヲ試ミラル、此澱粉ハ二〇―三五ミューノ大サヲ有ス。

「タビオカ」ニ似テ小形ナル粒狀トナセル輸入澱粉ニ「サゴ」又「サゴ米」ト稱スルモノアリ是ハ  
*Metroxylon Sagus* ト稱スルしゆろ科植物ノ一種及ビ其同屬ノ諸種ノ髓中ニ貯ヘラル、澱粉ヲ採リ  
タルモノニシテ又時ニ蘇鐵ヨリモ同名ノモノヲ得ラル、此澱粉ハ三五―五〇ミューノ大サヲ有シ  
時ニ八〇ミューニ達スルモノアリ、我國ニテハ鹿兒島縣大島ニ於テ蘇鐵ノ種子ヨリ澱粉ヲ製ス。  
以上ニ重ナル澱粉採取用植物ト是ヨリ得タル澱粉ノ大サノミヲ舉ゲタリ、我國ニ産スルモノニ  
ツキテ茲ニ舉ゲザルモノアリ是等ハ略其大サヲ知ルヲ得タルモ尙研究ヲ要スベキモノアリ、又  
材料ニモ少シク不足ヲ感ズルヲ以テ充分ニ集リタル上ニテ改メテ報ゼントス。

附記、母校植物教室ニ於テ内外産ノ澱粉類ノ原料及製品ヲ集メント欲シ種々ノ方面ヨリ蒐集シ  
ツ、アリ、地方御在任ノ諸姉ニシテ其地特産ノ澱粉及其原料ヲ寄セラル、アラバ幸ナリ。

本會記事

明治四十四年十一月十一日午後一時ヨリ本校第一講堂ニ於テ本會第廿一回例会ヲ開ク部長平田  
教授ハ御令弟御逝去ノ報ニ接シ給ヒ御缺席ヲ餘儀ナクセラレシタメ岩川教授代ツテ開會ノ辭ヲ述  
ベラレ演説ノ進行其他本日ノ會ニ對スル一切ノ指揮ヲナシ給ヘリ。

本日ノ演題左ノ如シ

- 一、ロバチエブスキーノ幾何學 理四 吉 成 ツ ネ
- 一、極光ニツキテ 同 飯 田 キ ク
- 一、通俗的數學ニツキテ 森 先 生

此外ニ物理室ヨリハ友田氏流線裝置及磁力線ノ青寫眞ヲ出品セラレ乙部教授ヨリ其青寫眞ニ就  
キテ御説明アリ又小川助教及江澤駒路氏ハ流線裝置ニツキ實驗ノ勞ヲトラレタリ。

化學室ヨリハ上野氏水素發生劑 S S S 及ルシヤテリーノ高温計ヲ出品セラレ黒田助教ハコレ  
ヲニツキ原理ヲ説明セラレ且實驗ヲ示サレタリ。

水素發生劑 S S S ハ外觀恰モ合金ノ如キ青灰色板狀ノ塊ニシテ之ヲ水中ニ投ズレバ盛ニ水素ヲ  
發生シコレニ水ヲ注グ時ハ崩壞シテ粉末トナル其主成分ハアルミニウム及亞鉛ナルガ如シ